

- 注意書き
- : 保護手袋を着用すること。
 - 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 - 保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - 使用前に取扱説明書を入手すること。
 - すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - 指定された個人用保護具を使用すること。
 - 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 - 環境への放出を避けること。
 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 - 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 - 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
 - 特別処置が緊急に必要である。
 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 - 取り扱った後、手を洗うこと。
 - 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 - 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 - 施錠して保管すること。
 - 内容物や容器を破棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

組成および含有量

化学名または一般名	含有量(%)	新PRTR法(1)	旧PRTR法(2)	化審法(3)	安衛法(4)	CAS No.
ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル	10	第1種410	第1種309	(7)-172	—	9016-45-9
研磨剤	非公開	—	—	非公開	—	非公開
グリコールエーテル	非公開	—	—	非公開	—	非公開
有機酸塩	非公開	—	—	非公開	—	非公開
増粘剤	微量	—	—	非公開	—	非公開
防腐剤	微量	—	—	非公開	—	非公開
水	残量	—	—	—	—	7732-18-5

(1) 化学物質排出把握管理促進法 新規指定化学物質 官報公示整理番号(平成20年11月21日公布)

(2) 化学物質排出把握管理促進法 新規指定化学物質 官報公示整理番号(平成12年3月30日施行)

(3) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

(4) 労働安全衛生法 第57条の2 通知対象物質 政令番号

— : 該当しない

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹼で洗い流す。水泡、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 眼を擦らず直ちに洗浄な水で15分間以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水又は牛乳を飲ませ、無理に吐かせないで直ちに医師の診断を受けること。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

除去方法 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱いの都度、容器を密閉すること。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋及び保護眼鏡を着用すること。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをすること。

注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。

安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い場所で容器を密閉し保管すること。
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
冷却すると凝固するので、冬季には温度降下に注意する。

安全な容器包装材料 : 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること。
他の容器に移し替えて保管しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 特になし

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない
ACGIH : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて簡易防塵マスクを使用する。
手の保護具 : ゴム手袋を使用する。
眼の保護具 : 保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて保護衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 乳白色液体
臭い	: 原料臭
pH(原液)	: 7.8(代表値)
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
引火点	: 引火性なし
比重(25℃)	: 1.10(代表値)
溶解性	: 水に分散する。時間が経つと研磨剤は沈降する。
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	: 現在のところ有用な情報なし。
混触危険物質	: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物	: 現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷 /刺激性	: 重篤な眼への刺激
呼吸器感作性	: 情報なし
又は皮膚感作性	
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器/全身毒性 一単回曝露	: 情報なし
特定標的臓器/全身毒性 一反復曝露	: 長期にわたるまたは反復曝露による臓器<肝臓、心血管系>の障害のおそれ
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし
その他の情報	: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 水生生物に毒性
残留性/分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の蓄積性	: 情報なし
他の有害影響	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 国連分類 : 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
 国連番号 : 該当なし

国内規制

- 陸上輸送 : 消防法・労働安全衛生法・毒劇物取締役に該当する場合は、それぞれ定められた輸送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められた輸送方法に従う。

- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。直射日光を避ける。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

- 新規指定化学物質 第一種指定化学物質 政令番号 第410号
 (平成20年11月21日公布) : 【ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル】10%
 現行指定化学物質 第一種指定化学物質 政令番号 第309号
 (平成12年3月30日施工) : 【ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル】10%

労働安全衛生法

- 危険物 : 非該当
 有機則 : 非該当
 表示物質 : 非該当
 第57条の2第1項通知対象物 : 非該当
 毒劇物取締法 : 非該当
 消防法 : 非該当

16. その他の情報

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。

記載内容の問合せ先 : 会社名 株式会社 ゴダイ
 住 所 福岡県久留米市東合川3-10-6リパティビル4F
 電話番号 0942-41-1019